

保守作業ガイド

スタック構成装置交換手順 【AX2530S】 【AX260A】

第2版

2020年8月21日発行

アラクサラネットワークス株式会社

フィールドサポート部

目次

はじめに.....	3
0. 本手順書の読み方.....	4
1. スタック構成装置交換(装置情報のバックアップ有り).....	5
事前確認および作業準備.....	5
手順 1.1 作業前の確認.....	5
手順 1.2 ケーブルの抜去(機器 B).....	5
手順 1.3 装置情報確認(機器 A).....	6
手順 1.4 装置情報確認(機器 E).....	7
手順 1.5 機器の交換.....	8
手順 1.6 交換後(スタック構成)の確認.....	9
2. スタック構成装置交換(装置情報のバックアップ無し).....	10
事前確認および作業準備.....	10
手順 2.1 作業前の確認.....	11
手順 2.2 ケーブルの抜去(機器 B).....	11
手順 2.3 装置情報確認(機器 A).....	11
手順 2.4 装置情報確認(機器 E).....	13
手順 2.5 ソフトウェアバージョンの設定、スタック準備モードの設定(機器 E).....	14
手順 2.6 機器の交換.....	15
手順 2.7 スイッチ番号とライセンス情報の設定(機器 E).....	16
手順 2.8 交換後(スタック構成)の確認.....	17

はじめに

■本資料について

スタックを構成するAX装置 (AX2530S、AX260A) の交換手順を紹介しています。

■本書内での文字スタイル

- ・赤字に網掛け: 入力するコマンド
- ・太字に囲み枠: 確認が必要なメッセージ

■関連資料

AXシリーズ製品マニュアル (<http://www.alaxala.com/jp/techinfo/manual/index.html>)

- ・ソフトウェアマニュアル
- ・ソフトウェアアップデートガイド

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをおとりください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせ下さい。

■商標一覧

- ・アラクサラの名称およびロゴマークは、アラクサラネットワークス株式会社の商標および登録商標です。
- ・そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■免責

- ・本資料の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- ・本資料の内容は、手順の概要を示すもので実行結果を保証するものではありません。本資料で示される各コマンドの詳細や注意事項は製品のマニュアルをご確認ください。

■改訂来歴

版数	日付	変更内容
第1版	2019. 12. 13	新規作成
第2版	2020. 8. 21	<ul style="list-style-type: none">● P. 5 「事前確認および作業準備」 backup/restoreコマンドの実施において、“no-software”および“stack”のパラメータを指定しないように記載● 項番1-4-2, 2-4-2 ログイン時に出力される表示内容に関する説明を追記● 項番2-3-3, 2-6-3, 2-8-2 「2. スタック構成装置交換(装置情報のバックアップ無し)」の手順では、通信断が発生する可能性があるため、機器Eにケーブルを挿入する手順を修正。● 項番1-5-2, 2-6-2 「機器Eが停止したことを確認後、」を削除。● 項番2-4-4 機器Eの前提条件(オプションライセンス未設定)を確認する手順に修正● 他、表現の見直し(運用コマンドを実行する対象装置を明記、等)を実施。

※なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

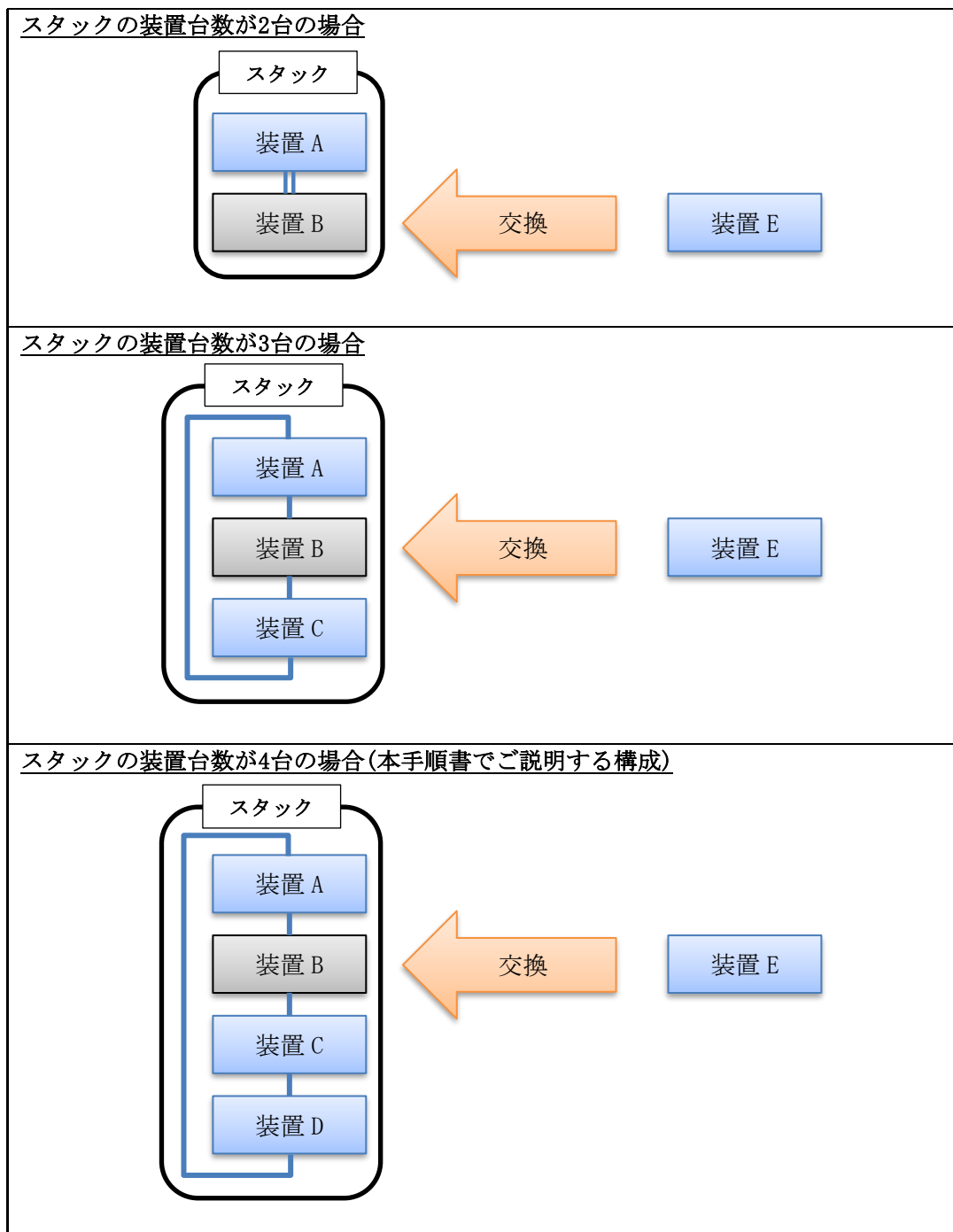
0.本手順書の読み方

■用語の定義、およびスタックの装置台数について

本手順書は、スタックの装置台数が4台の場合の交換手順を記載しており、スタックの各装置を下記のように定義します。

- 機器A：スタックを構成するマスタスイッチ
- 機器B：スタックを構成するメンバスイッチ(交換前の装置)
- 機器C：スタックを構成するメンバスイッチ
- 機器D：スタックを構成するメンバスイッチ
- 機器E：スタックを構成するメンバスイッチ(交換後の装置)

スタックの装置台数が2台もしくは3台の場合は、下記の図のように4台の場合の構成から機器Cや機器Dを取り除いた構成と同等となりますため、以降の交換手順の記述において「機器C」や「機器D」は存在しないものとして、交換手順を読み進めて下さい。



1. スタック構成装置交換 (装置情報のバックアップ有り)

事前確認および作業準備

■前提条件

本手順は、下記の状況を満たしていることを前提としています。

- 各機器は以下の状態である。

機器A	<ul style="list-style-type: none">電源はONになっている。機器 A, C, D の 3 台でスタックとして動作中であり、マスタスイッチである。コマンド投入をするためのコンソール端末が準備されている。ケーブルは接続されている。
機器B	<ul style="list-style-type: none">電源は OFF になっている。ケーブルは接続されている。
機器C 機器D	<ul style="list-style-type: none">電源はONになっている。機器A, C, Dの3台でスタックとして動作中であり、メンバスイッチである。ケーブルは接続されている。
機器E	<ul style="list-style-type: none">電源は OFF になっている。機器 B の装置情報のバックアップ情報が機器 E にリストア済み。(ソフトウェアバージョン、ライセンス、コンフィグ、スタックを構成しているスイッチ番号等) (※)コマンド投入をするためのコンソール端末が準備されている。ケーブルは接続されていない。

※装置情報の復旧はbackup/restoreコマンドにて作業することを推奨致します。

ソフトウェアバージョン、ライセンス、スイッチ番号を含めてバックアップするため、backup/restoreコマンドを実施する際には、“no-software”および“stack”のパラメータを指定しないようお願いします。

手順1.1 作業前の確認

項番	作業内容	
1-1-1	[作業前の確認] 上記、前提条件を確認して下さい。 条件を満たしていない場合は、条件を満たすよう、修正して下さい。	<input type="checkbox"/>

手順1.2 ケーブルの抜去 (機器 B)

項番	作業内容	
1-2-1	[ケーブルの抜去 (機器 B)] 機器 B のケーブルを抜去して下さい。なお、機器 B から抜去したケーブルを、機器 E の同じ箇所 (ポート) に挿入できるよう、必要であれば、抜去の際に、目印等の処置を行ってください。	<input type="checkbox"/>

手順1.3 装置情報確認(機器A)

項番	作業内容	
1-3-1	<p>[ソフトウェアバージョン、機器Bのスイッチ番号の確認(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドshow versionを実行して、機器Bのスイッチ番号を確認してください。また、機器A, C, Dのソフトウェアバージョンもあわせて取得して下さい。Model, S/W, H/Wの項目が「-」と表示されているスイッチが機器Bであり、それ以外のスイッチが機器A, C, Dと判断できます。 (この先の手順1-4-3で機器Eの装置情報との比較に使用します。)</p> <pre> > show version Date 2019/08/22 14:24:50 JST Switch number: 1 Model: AX2530S-48T2X S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) ※ソフトウェアバージョン H/W: AX-2530-48T2X-B [CA025B48T2X0S0000C5R002:0] Switch number: 2 ※機器Bのスイッチ番号 Model: - S/W: - H/W: - Switch number: 3 Model: AX2530S-48T S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) ※ソフトウェアバージョン H/W: AX-2530-48T-B [CA025B48T000S0000117010:0] Switch number: 4 Model: AX2530S-48T S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) ※ソフトウェアバージョン H/W: AX-2530-48T-B [CA025B48T000S000011F008:0] </pre>	□
1-3-2	<p>[ライセンス情報の確認(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドshow licenseを実行して、機器Aのオプションライセンス種別をすべて取得して下さい。なお、ライセンス種別は複数存在している場合もあります。 (この先の手順1-4-4で機器Eのオプションライセンス種別との比較に使用します。)</p> <pre> > show license Date 2019/08/22 14:30:50 JST Stack status : Enable Switch No : 1 MAC address : 0012.e2a2.d84a Available: OS-L2A-U Serial Number Licensed software 0123-4567-89ab-cdef OS-L2A-U (AX-P2530-22AU) </pre>	□

手順1.4 装置情報確認(機器E)

項番	作業内容	
1-4-1	<p>[電源ON(機器E)]</p> <p>機器Eの電源をONにして下さい。</p> <p>Boot Initialize.....done. System Initialize.....done.</p>	□
1-4-2	<p>[ログイン(機器E)]</p> <p>login: operator ※「ユーザ名」を入力</p> <p>Copyright (c) 2010-2019 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. ⓧ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>プロンプトが">"と表示されていることを確認して下さい。 "*>"と表示されている場合は、">"と表示されるまで待ってください。</p> <p>ソフトウェアバージョンが4.17以降であり、パスワード未設定のユーザでログインした場合、以下のようにPasswordの入力を促されるので、何も入力せずEnterキーを押してください。 (以後の手順1-5-4も同様。)</p> <p>login: operator ※「ユーザ名」を入力 Password: ※何も入力せずEnterキーを押す No password is set. Please set password!</p> <p>Copyright (c) 2010-2020 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. ></p> </div>	□
1-4-3	<p>[スイッチ番号、ソフトウェアバージョンの確認(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドshow versionを実行して、機器Eのスイッチ番号が、手順1-3-1で確認した機器Bと一致していることを確認して下さい。 また、ソフトウェアバージョンが、手順1-3-1で確認した機器A, C, Dと一致していることを確認して下さい。</p> <pre>> show version Date 2019/08/22 14:38:01 JST Switch number: 1 Model: - S/W: - H/W: - Switch number: 2 Model: AX2530S-48T2X S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) H/W: AX-2530-48T2X-B [CA025B48T2X0S0000C5R001:0] Switch number: 3 Model: - S/W: - H/W: - Switch number: 4 Model: - S/W: - H/W: -</pre> <p style="text-align: right;">※スイッチ番号</p> <p style="text-align: right;">※ソフトウェアバージョン</p>	□

1-4-4	<p>[ライセンス情報の確認(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドshow licenseを実行して、機器Eのオプションライセンス種別が、手順1-3-2で確認した機器Aと一致していることを確認して下さい。ライセンス種別が複数存在していた場合はすべて一致するか確認して下さい。</p> <pre>> show license Date 2019/08/22 14:38:08 JST Stack status : Enable Switch No : 2 MAC address : 0012.e2a2.d87f Available: OS-L2A-U Serial Number Licensed software fedc-ba98-7654-3210 OS-L2A-U (AX-P2530-22AU)</pre>	□
-------	---	---

手順1.5 機器の交換

項番	作業内容	
1-5-1	<p>[機器の停止(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドreloadを実行して、機器Eを停止させてください。 ※ソフトウェアバージョンが4.5より前の場合は、本手順は不要です。 手順1-5-2に進んでください。</p> <pre>> reload stop Restart OK? (y/n): y ※[y]を入力 (中略) System halt.</pre> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>"System halt."と表示されていることを確認して下さい。</p> </div>	□
1-5-2	<p>[電源OFF(機器E)]</p> <p>電源をOFFにして下さい。</p>	□
1-5-3	<p>[ケーブル挿入(機器E)]</p> <p>機器Eにて、機器Bに接続されていたポートと同じ箇所、ケーブルを挿入して下さい。</p>	□
1-5-4	<p>[電源ON(機器E)]</p> <p>機器Eの電源をONして下さい。</p> <pre>Boot Initialize.....done. System Initialize.....done.</pre> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>起動後、機器Eはメンバスイッチとして稼働します。</p> </div>	□
1-5-4	<p>[ログイン(機器E)]</p> <pre>login: operator ※「ユーザ名」を入力 Copyright (c) 2010-2019 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. []</pre> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>プロンプトが">"と表示されていることを確認して下さい。 "*>"と表示されている場合は、">"と表示されるまで待ってください。</p> </div>	□

手順1.6 交換後(スタック構成)の確認

項番	作業内容																															
1-6-1	<p>[メンバスイッチ情報の確認(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドshow switchを実行して、メンバスイッチ情報を確認してください。</p> <pre>> show switch</pre> <p>Date 2019/08/22 14:42:47 JST Stack status : Enable Switch No : 2 MAC address : 0012.e2a2.d87f System MAC address : 0234.ffff.fff1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>Switch status</th> <th>Model</th> <th>Machine ID</th> <th>Priority</th> <th>OS Ver</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Master</td> <td>2530-48t2x</td> <td>0012.e2a2.d84a</td> <td>20</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t2x</td> <td>0012.e2a2.d87f</td> <td>15</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t</td> <td>0012.e242.3d38</td> <td>10</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t</td> <td>0012.e242.4beb</td> <td>5</td> <td>4.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>MasterとStack memberのエントリが表示されていることと、機器EがStack memberになっていること(機器EのSwitch No.を確認し、そのSwitch No.がStack memberになっていること)を確認して下さい。</p>	No	Switch status	Model	Machine ID	Priority	OS Ver	1	Master	2530-48t2x	0012.e2a2.d84a	20	4.14	2	Stack member	2530-48t2x	0012.e2a2.d87f	15	4.14	3	Stack member	2530-48t	0012.e242.3d38	10	4.14	4	Stack member	2530-48t	0012.e242.4beb	5	4.14	□
No	Switch status	Model	Machine ID	Priority	OS Ver																											
1	Master	2530-48t2x	0012.e2a2.d84a	20	4.14																											
2	Stack member	2530-48t2x	0012.e2a2.d87f	15	4.14																											
3	Stack member	2530-48t	0012.e242.3d38	10	4.14																											
4	Stack member	2530-48t	0012.e242.4beb	5	4.14																											

2. スタック構成装置交換(装置情報のバックアップ無し)

事前確認および作業準備

■前提条件

本手順は、下記の状況を満たしていることを前提としています。

- 各機器の以下の状態である。

機器A	<ul style="list-style-type: none">電源はONになっている。機器 A, C, D の 3 台でスタックとして動作中であり、マスタスイッチである。コマンド投入をするためのコンソール端末が準備されている。ケーブルは接続されている。
機器B	<ul style="list-style-type: none">電源は OFF になっている。ケーブルは接続されている。
機器C 機器D	<ul style="list-style-type: none">電源はONになっている。機器A, C, Dの3台でスタックとして動作中であり、メンバスイッチである。ケーブルは接続されている。
機器E	<ul style="list-style-type: none">電源は OFF になっている。コンフィグ及びライセンス情報が初期状態である。コマンド投入をするためのコンソール端末が準備されている。ケーブルは接続されていない。

- アップデートファイルの準備について

機器Aと機器Eのソフトウェアバージョンが異なる場合は、機器Eのソフトウェアをアップデートする必要があります。機器Aのソフトウェアバージョンと同一のアップデートファイルを機器EのRAMDISK上にk.imgというファイル名で格納して下さい。

各モデルのソフトウェアは以下の通りです。(xxyy : バージョン, zzz : ビルド番号)

- AX2530S : AX2530L2xxyy-zzz.bin
- AX2530SE : AX2530EL2xxyy-zzz.bin
- AX260A : AX0260L2xxyy-zzz.bin

- オプションライセンスの準備について

機器Bにオプションライセンスが設定されている場合は、機器Bと同一のオプションライセンスを機器Eに設定する必要があります。オプションライセンスを設定するためには、ライセンスキー又はライセンスキーファイルを使用する場合の2つの方法がございます。以下のいずれかを準備して下さい。

ライセンスキー :

「オプションライセンス使用許諾契約書兼ライセンスシート」に記載の32桁の文字列

ライセンスキーファイル :

ライセンスキー(32桁)を平文で格納したテキストファイル(ユーザ側で作成したもの)

各モデルのオプションライセンスは以下の通りです。

- AX2530S : OS-L2A-U
- AX2530SE : OS-L2A-U
- AX260A : OP-WL, OP-WLE

手順2.1 作業前の確認

項番	作業内容	
2-1-1	[作業前の確認] 上記、前提条件を確認して下さい。 条件を満たしていない場合は、条件を満たすよう、修正して下さい。	<input type="checkbox"/>

手順2.2 ケーブルの抜去(機器B)

項番	作業内容	
2-2-1	[ケーブルの抜去(機器B)] 機器Bのケーブルを抜去して下さい。なお、機器Bから抜去したケーブルを、機器Eの同じ箇所(ポート)に挿入できるよう、必要であれば、抜去の際に、目印等の処置を行ってください。	<input type="checkbox"/>

手順2.3 装置情報確認(機器A)

項番	作業内容	
2-3-1	[ソフトウェアバージョン、機器Bのスイッチ番号の確認(機器A)] 機器Aにて運用コマンドshow versionを実行して、機器Bのスイッチ番号を確認してください。 また、機器A, C, Dのソフトウェアバージョンもあわせて取得して下さい。 Model, S/W, H/Wの項目が「-」と表示されているスイッチが機器Bであり、それ以外のスイッチが機器A, C, Dと判断できます。 (この先の手順2-3-3での機器Bのスタックポート番号の確認、および手順2-4-3で機器Eの装置情報との比較に使用します。) > show version Date 2019/08/22 14:24:50 JST Switch number: 1 Model: AX2530S-48T2X S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) ※ソフトウェアバージョン H/W: AX-2530-48T2X-B [CA025B48T2X0S0000C5R002:0] Switch number: 2 ※機器Bのスイッチ番号 Model: - S/W: - H/W: - Switch number: 3 Model: AX2530S-48T S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) ※ソフトウェアバージョン H/W: AX-2530-48T-B [CA025B48T000S0000117010:0] Switch number: 4 Model: AX2530S-48T S/W: OS-L2A Ver. 4.14 (Build:02) ※ソフトウェアバージョン H/W: AX-2530-48T-B [CA025B48T000S000011F008:0]	<input type="checkbox"/>

2-3-2	<p>[ライセンス情報の確認(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドshow licenseを実行して、機器Aのオプションライセンス種別をすべて取得して下さい。なお、ライセンス種別は複数存在している場合もあります。 (この先の手順2-7-2で機器Eへ設定するオプションライセンス種別の確認となります。)</p> <pre>> show license Date 2019/08/22 14:30:50 JST Stack status : Enable Switch No : 1 MAC address : 0012.e2a2.d84a Available: OS-L2A-U Serial Number Licensed software 0123-4567-89ab-cdef OS-L2A-U (AX-P2530-22AU)</pre>	□
2-3-3	<p>[機器Bのスタックポート番号の確認(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドshow running-configを実行して、機器Bのスタックポート番号を確認してください。show running-configの表示内容から、機器Bのスイッチ番号(手順2-3-1で確認)のポートのうち、“switchport mode stack”の設定が入っているポートがスタックポート番号であると判断できます。 (この先の手順2-6-3で機器Eにケーブルを挿入していただくポート番号の確認となります。)</p> <pre>> enable # show running-config</pre> <p>(略)</p> <pre>interface tengigabitethernet 2/0/51 ※(機器Bのスイッチ番号)/0/(スタックポート番号) switchport mode stack ! interface tengigabitethernet 2/0/52 ※(機器Bのスイッチ番号)/0/(スタックポート番号) switchport mode stack !</pre> <p>(略)</p>	□

手順2.4 装置情報確認(機器E)

項番	作業内容	
2-4-1	<p>[電源ON(機器E)]</p> <p>機器Eの電源をONして下さい。</p> <p>Boot Initialize.....done. System Initialize.....done.</p>	□
2-4-2	<p>[ログイン(機器E)]</p> <p>login: operator ※「ユーザ名」を入力</p> <p>Copyright (c) 2010-2017 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. ></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ソフトウェアバージョンが4.17以降であり、パスワード未設定のユーザでログインした場合、以下のようにPasswordの入力を促されるので、何も入力せずEnterキーを押してください。 (以後の手順2-5-3, 2-6-5, 2-7-6も同様。)</p> <p>login: operator ※「ユーザ名」を入力 Password: ※何も入力せずEnterキーを押す No password is set. Please set password!</p> <p>Copyright (c) 2010-2020 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. ></p> </div>	□
2-4-3	<p>[ソフトウェアバージョンの確認(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドshow versionを実行して、機器Eのソフトウェアバージョンが、手順2-3-1で確認した機器A, C, Dと一致していることを確認して下さい。</p> <p>> show version Date 2019/08/27 23:46:23 UTC Model: AX2530S-48T2X S/W: OS-L2B Ver. 4.7 (Build:19) H/W: AX-2530-48T2X-B [CA025B48T2X0S0000C5R001:0]</p>	□
2-4-4	<p>[ライセンス情報の確認(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドshow licenseを実行して、機器Eにオプションライセンスが設定されていないことを確認してください。</p> <p>> show license Date 2019/08/27 23:46:26 UTC Available: ----- <input type="text"/></p>	□

手順2.5 ソフトウェアバージョンの設定、スタック準備モードの設定(機器E)

項番	作業内容	
2-5-1	<p>[ソフトウェアのアップデート(機器E)]</p> <p>手順2-4-3で、機器A, C, Dと機器Eのソフトウェアバージョンが異なる場合のみ、ソフトウェアイメージを、機器EのRAMDISK上にk.imgという名前で保存してください。 ※同一である場合は、本手順並びにアップデート作業は不要です。手順2-5-4に進んでください。</p>	<input type="checkbox"/>
2-5-2	<p>[ソフトウェアのアップデート(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドppupdateを実行して、アップデートを実行して下さい。</p> <pre>> enable # ppupdate ramdisk k.img</pre> <p>Software update start ***** ** UPDATE IS STARTED. ** *****</p> <p>old version 4.7 (Build:19) new version 4.14 (Build:02)</p> <p>Automatic reboot process will be run after installation process. Do you wish to continue ? (y/n): y</p> <p>(中略)</p> <p>Update done. ***** ** UPDATE IS FINISHED SUCCESSFULLY. ** *****</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> アップデートが完了すると、自動的に装置が再起動します。 </div>	<input type="checkbox"/>
2-5-3	<p>[ログイン(機器E)]</p> <p>login: operator ※「ユーザ名」を入力</p> <p>Copyright (c) 2010-2019 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. ></p>	<input type="checkbox"/>
2-5-4	<pre>> enable</pre>	<input type="checkbox"/>
2-5-5	<p>[スタック準備モードの設定(機器E)]</p> <pre># set stack boot</pre> <p>The change will be effective on the next reload. Warning: the configuration will be lost on the next reload. Do you wish to continue ? (y/n): y</p>	<input type="checkbox"/>

手順2.6 機器の交換

項番	作業内容	
2-6-1	<p>[機器の停止(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドreloadを実行して、機器Eを停止させてください。 ※ソフトウェアバージョンが4.5より前の場合は、本手順は不要です。 手順2-6-2に進んでください。</p> <pre># reload stop Restart OK? (y/n): y ※[y]を入力 (中略) System halt.</pre>	<input type="checkbox"/>
2-6-2	<p>[電源OFF(機器E)]</p> <p>電源をOFFにして下さい。</p>	<input type="checkbox"/>
2-6-3	<p>[スタックポートにケーブル挿入(機器E)]</p> <p>機器Eにて、機器Bのスタックポート(項番2-3-3)と同じ箇所に、ケーブルを挿入して下さい。 ※スタックポート以外のケーブルは、機器Eがスタックのメンバスイッチとして動作する準備が出来た後、この先の項番2-8-2にて接続を行います。準備が出来る前に接続した場合、通信に影響が出る場合があります。</p>	<input type="checkbox"/>
2-6-4	<p>[電源ON(機器E)]</p> <p>機器Eの電源をONして下さい。</p> <pre>Boot Initialize.....done. System Initialize.....done.</pre>	<input type="checkbox"/>
2-6-5	<p>[ログイン(機器E)]</p> <pre>login: operator ※「ユーザ名」を入力</pre> <p>Copyright (c) 2010-2019 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved. *></p> <p>----- プromptが"*>"と表示されていることを確認して下さい。</p>	<input type="checkbox"/>

手順2.7 スイッチ番号とライセンス情報の設定(機器E)

項番	作業内容																															
2-7-1	<p>[機器EのMachine IDの取得(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドshow switchを実行して、スタック準備モードになっている機器EのMachine IDを取得してください。 Switch statusの項目が「Restrict(Not initialized)」となっているスイッチが、機器Eとなります。</p> <pre># show switch</pre> <p>Date 2019/08/28 08:54:40 JST Stack status : Enable Switch No : 1 MAC address : 0012.e2a2.d84a System MAC address : 0234.ffff.fff1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>Switch status</th> <th>Model</th> <th>Machine ID</th> <th>Priority</th> <th>OS Ver</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Master</td> <td>2530-48t2x</td> <td>0012.e2a2.d84a</td> <td>20</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t</td> <td>0012.e242.3d38</td> <td>10</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t</td> <td>0012.e242.4beb</td> <td>5</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>Restrict(Not initialized)</td> <td>-</td> <td>0012.e2a2.d87f</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	No	Switch status	Model	Machine ID	Priority	OS Ver	1	Master	2530-48t2x	0012.e2a2.d84a	20	4.14	3	Stack member	2530-48t	0012.e242.3d38	10	4.14	4	Stack member	2530-48t	0012.e242.4beb	5	4.14	-	Restrict(Not initialized)	-	0012.e2a2.d87f	-	-	□
No	Switch status	Model	Machine ID	Priority	OS Ver																											
1	Master	2530-48t2x	0012.e2a2.d84a	20	4.14																											
3	Stack member	2530-48t	0012.e242.3d38	10	4.14																											
4	Stack member	2530-48t	0012.e242.4beb	5	4.14																											
-	Restrict(Not initialized)	-	0012.e2a2.d87f	-	-																											
2-7-2	<p>[機器Eのオプションライセンスの設定(機器A)]</p> <p>手順2-3-2で、機器A,C,Dにオプションライセンス種別が存在している場合のみ、実行して下さい。 機器Aにて運用コマンドset remote licenseを実行して、機器Eへ機器Bのライセンスキーを設定します。項番2-7-1で確認したMachine IDを指定してください。 オプションライセンスの設定は2つの方法がございますので、いずれかを実行して下さい。</p> <p>(ライセンスキー(32桁の文字列)を指定する方法)</p> <pre># set remote 0012.e2a2.d87f license key-code fedc-ba98-7654-3210-fedc-ba98-7654-3210</pre> <p>(ライセンスキーファイルを指定する方法(ライセンスキーファイル名が"adopt.dat"の例の場合))</p> <pre># set remote 0012.e2a2.d87f license key-file adopt.dat</pre> <p>オプションライセンス種別が複数存在していた場合は、すべてのオプションライセンス種別の設定が完了するまで繰り返してください。</p>	□																														
2-7-3	<p>[機器Eのスイッチ番号の設定(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドset remote switchを実行して、機器Eにスイッチ番号(項番2-3-1にて確認した機器Bのスイッチ番号と同じ)を設定してください。項番2-7-1で確認したMachine IDを指定してください。</p> <pre># set remote 0012.e2a2.d87f switch 2</pre>	□																														
2-7-4	<p>[機器Eのスタック動作モードの設定(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドset remote stackを実行して、機器Eにスタック動作モードを設定してください。項番2-7-1で確認したMachine IDを指定してください。</p> <pre># set remote 0012.e2a2.d87f stack enable</pre>	□																														
2-7-5	<p>[機器Eの再起動(機器A)]</p> <p>機器Aにて運用コマンドreloadを実行して、機器Eを再起動してください。項番2-7-1で確認したMachine IDを指定してください。</p> <pre># reload switch 0012.e2a2.d87f</pre> <p>Restart specify switch OK? (y/n) : y</p>	□																														

2-7-6	<p>[ログイン(機器E)]</p> <p>機器Eにログインしてください。</p> <p>login: <code>operator</code> ※「ユーザ名」を入力</p> <p>Copyright (c) 2010-2019 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.</p> <p>☒</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>プロンプトが">"と表示されていることを確認して下さい。 "*>"と表示されている場合は、">"と表示されるまで待ってください。</p> </div>	□
-------	--	---

手順2.8 交換後(スタック構成)の確認

項番	作業内容																															
2-8-1	<p>[メンバスイッチ情報の確認(機器E)]</p> <p>機器Eにて運用コマンドshow switchを実行して、メンバスイッチ情報を確認してください。</p> <p>> <code>show switch</code></p> <p>Date 2019/08/22 14:42:47 JST Stack status : Enable Switch No : <u>2</u> MAC address : 0012.e2a2.d87f System MAC address : 0234.ffff.ffff</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>Switch status</th> <th>Model</th> <th>Machine ID</th> <th>Priority</th> <th>OS Ver</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Master</td> <td>2530-48t2x</td> <td>0012.e2a2.d84a</td> <td>20</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td><u>2</u></td> <td><u>Stack member</u></td> <td>2530-48t2x</td> <td>0012.e2a2.d87f</td> <td>15</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t</td> <td>0012.e242.3d38</td> <td>10</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Stack member</td> <td>2530-48t</td> <td>0012.e242.4beb</td> <td>5</td> <td>4.14</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MasterとStack memberのエントリが表示されていることと、機器EがStack memberになっていること(機器EのSwitch No.を確認し、そのSwitch No.がStack memberになっていること)を確認して下さい。</p> </div>	No	Switch status	Model	Machine ID	Priority	OS Ver	1	Master	2530-48t2x	0012.e2a2.d84a	20	4.14	<u>2</u>	<u>Stack member</u>	2530-48t2x	0012.e2a2.d87f	15	4.14	3	Stack member	2530-48t	0012.e242.3d38	10	4.14	4	Stack member	2530-48t	0012.e242.4beb	5	4.14	□
No	Switch status	Model	Machine ID	Priority	OS Ver																											
1	Master	2530-48t2x	0012.e2a2.d84a	20	4.14																											
<u>2</u>	<u>Stack member</u>	2530-48t2x	0012.e2a2.d87f	15	4.14																											
3	Stack member	2530-48t	0012.e242.3d38	10	4.14																											
4	Stack member	2530-48t	0012.e242.4beb	5	4.14																											
2-8-2	<p>[ケーブル挿入(機器E)]</p> <p>機器Eにて、機器Bに接続されていたポートと同じ箇所に、残りのケーブルを挿入して下さい。</p>	□																														

以上で交換作業手順は終了となります。